



## 高松協同病院20周年記念講演会

演題「たくさん笑って介護施設」  
講師 株式会社をんな会 石田電生氏



楽しいお話で盛り上げていただいた石田さん(前列中央)とご一緒に！



ご挨拶する北原院長



## 「高松協同病院 20周年にあたって」

高松協同病院は香川民医連の職員と香川医療生協の高松東部地域の組合員の方々を中心に力を合わせて地域訪問する中で住民の多大な期待を得て協力もいただきながら、2002年9月1日に開設・開業しました。

はじめは少人数のスタッフからのスタートでしたが、それからリハビリテーションを中心とした専門病院としてセラピスト数も県下でも有数の施設となっています。現在まで地域の医療機関や介護・福祉施設等との連携の中で実績も積んで信頼される病院として発展してきています。

その後高松平和病院からの病床の移動による45床から85床への増床でさらに大きくなり今の高松協同病院が2011年4月完成しました。リハスタッフや看護・介護、事務のスタッフなどとのチームワークで病棟医療や在宅を中心とした生活期リハビリテーションの分野では地域医療の中でますます大きな役割を果たしていると自負しています。実は2022年にすでに20周年でしたが2020年ごろから始まる新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックがあり、日本国内も香川県内でも地域住民の日常生活にかなり制限されており

大勢の方々が集まる催しものを企画すること自体を躊躇せざるを得ない状況でした。

先日2024年1月13日によりやく記念行事を開催することができるようになったものの、まだ新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行などもあるため会食もしながらの盛大な祝賀会に関しては残念ながら実現しませんでした。それでも当院はWHOが推進する健康増進拠点病院(HPH)としてこの間発熱患者の対応にも積極的に取り組み予防医療としてのワクチン接種や健診活動などにも力を入れ地域の皆様に医療・介護を提供し地域全体の健康に寄与できるよう職員一同日々奮闘中です。

また忘れてならない重要な活動として、病院近くの元山橋で地域の方々と共にスタンディング行動を毎週地道に継続し、その時々情勢も意識しながら核兵器廃絶や大軍拡反対、社会保障の充実などを訴えていることがあります。あたりまえのことながら、健康は平和を土台にしか成り立ちません。いのちが真に大切にされる社会を目指して、これからもみなさんと一緒に成長しながら力を合わせて頑張っていく決意です。これからも高松協同病院をよろしくお願ひします。

定例平和社保宣伝：【市民連合】19日朝7時半/【社保協】25日朝7時半/【憲法C】第2(水)17時半  
【革新懇6の日行動】6日12時/【原水協6・9行動】9日12時/【原発なくす会】最終(金)17時半